

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	2ヶ月に一度運営推進会議を行っている。報告と相談、相談に対しての意見は頂いている。事業所からの情報発信をより積極的に行ってはどうかと提案を受ける。アピール方法を検討する。	事例紹介、ミニ講座等の開催など家族の意向も参考にしながら内容を工夫していく。	行事ごとに写真を撮っている。行事の報告をより効果的にする。フード部門が自社になった事を試食会をしアピールしていく。	12月
2	6	身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、非常口に階段がある為、安全に考慮し出入りに施錠、ベルを取り付けている。就寝時間の排泄時の転倒防止の為センサーマットを取り付けている方がいる。センサーマットの常備化を防ぐ。	センサーマットの常態化を防ぐためにも、検討会を行い、記録の整備をする。	排泄間隔を把握し寝起きでふらついている方の対応ができるようにする。夜間ぐっすり眠れるように日中の過ごし方を考える。記録の抜けが無いようにする。	6月
3	37	年に2回夜間想定訓練も含め消防署立ち合いのもと利用者も参加し避難訓練を実施しているが確実に職員がどうしたらよいのか把握していない。	具体的にマニュアル化し避難訓練に活かす。指定避難所でもある為周知徹底する。	次回の避難訓練までにマニュアルを作成し職員の意識を高める。避難訓練後にはミーティングを行い反省点やわからない事や、意見を出し合い活かせる。備蓄類をそろえていく。	10月
4					月
5					月